

第13回 **がん市民講演会** **がんの不安 相談してみませんか** 参加費 無料

地域がん診療連携拠点病院として、市民の皆さまを対象にがん医療に対する正しい知識の普及を目的に第13回の市民公開講演会を開催致しますので、ぜひこの機会にご参加ください。

日時 平成27年**8月29日(土)**
14:00~16:00 (開場13:30)
会場 **ホテル京都エミナス** (金閣)
京都市西京区大原野東境谷町2-4 TEL.075-332-5800

お申込み ①住所②氏名③電話番号④参加人数を記入のうえ、はがき・FAX・メールでお申込み下さい。聴講券をお送りします。(当日参加も可能)
(※この講演会では個別の相談はお受けしておりません。)

講演① **がん晴れる道しるべ**
～ 経済的理由で治療をあきらめないためにできること～
がんライフアドバイザー
ファイナンシャルプランナー 川崎 由華 先生

講演② **寄りそうって? 向き合うって?**
～ 話して、離して、放す～
京都大学大学院 人間・環境学研究所
人間社会論講座 精神分析学研究室研究員 佐藤 泰子 先生

お問合せ 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
京都桂病院 がん相談支援センター
TEL.075-391-5811(代) FAX.075-381-2811
E-mail. gan-support@katsura.com

桂・ニュース

KATSURA NEWS

基本理念
私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な基幹的中心的な医療を担当すると共に、さらに高次の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

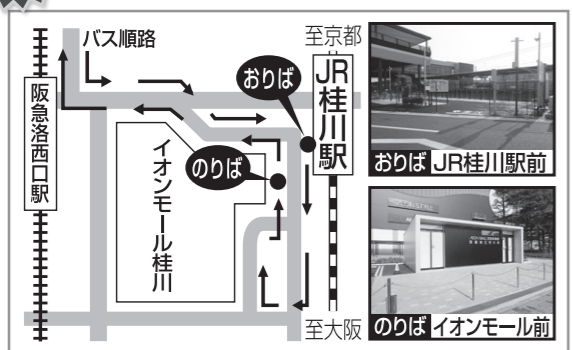
8月号
NO.233
2015・8・1
毎月1回・1日発行
〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
TEL.075-391-5811(代)

編集:広報課
印刷:(有)アクト
京都桂病院ホームページ
<http://www.katsura.com>

無料送迎バス時刻表のご案内

JR桂川駅便
阪急桂駅便

新規 JR桂川駅前

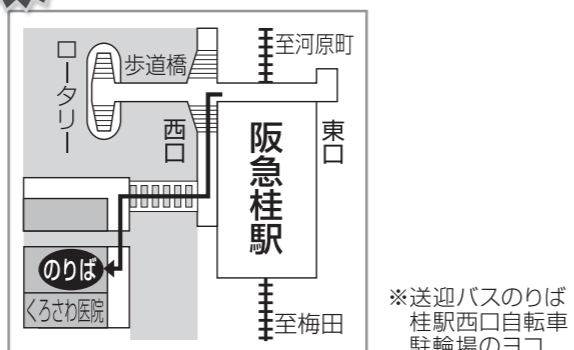


①のりばはイオンモール桂川 警察官立寄り所前です。

時間	病院発		JR桂川駅発	
	月～金曜日	土・日・祝	月～金曜日	土・日・祝
7時	30		00 50	
8時	30		50	
9時	20		40	
10時	20		40	
11時				
12時	20		40	
13時	20		40	
14時	20		40	
15時				
16時	10		40	
17時	10		40	
18時	10		40	
19時	10			
20時				

※病院発は全て正面玄関発となります。
※土・日・祝日は運休となります。

増便 阪急桂駅前(西口)



※送迎バスのりば 桂駅西口自転車駐輪場のヨコ

時間	病院発		桂駅(西口)発	
	月～金曜日	土・日・祝	月～金曜日	土・日・祝
7時	10 45		25	
8時	20		00 35	
9時	10 40		20 50	
10時	10 40		20 50	
11時	10 40		20 50	
12時	10 40	40	20 50	50
13時	10 40	10 40	20 50	20 50
14時	10 40	10 40	20 50	20 50
15時	15 50	15 50	25	25
16時	15 50		00 25	00
17時	20 50	20 50	00 30	30
18時	20	20	00 30	00 30
19時	10 50	10	20	20
20時	25		00 35	

※○は、病院正面玄関発となります。
※□は、病院南玄関発となります。
※土・日・祝日は全て南玄関発となります。

※交通事情等により遅れる場合があります。ご了承ください。

肺がん化学療法

最近の
進歩

呼吸器センター
所長
寺田 泰二



近年、肺がんの化学療法は免疫療法も含め大きく進歩しましたので、主なものを紹介したいと思います。

▶ 制吐剤の進歩

抗がん剤の投与で、患者さんが最も苦しむのが「吐き気」です。抗がん剤治療を患者に説明すると、「苦しいのではないですか」とよく聞かれますが、最近は抗がん剤による吐き気を抑える薬がいくつか開発され、薬の組み合わせや使い方も進歩しました。肺がんの抗がん剤治療を6年前に受けた人が、再発のため同じ抗がん剤を使用した時「今回の治療は非常に楽で、本当に前回と同じ抗がん剤ですか?」と言われました。

▶ 分子標的薬

10年前に分子標的薬が登場してから肺がんの化学療法は変わりました。分子標的薬は、がん細胞の表面の受容体に作用して分裂を抑える薬で、がん細胞に遺伝子変異(EGFR遺伝子変異とALK融合遺伝子)が起こっている場合に有効です。現在使用できる分子標的薬は、EGFRが3種類、ALKが2種類

あります。これらの薬は、効果がある場合は、劇的に効きます。通常は1年程度で効かなくなることが多いのですが、5年以上コントロールされている方もおられます。また、効かなくなる理由である耐性機構も解明されているので、現在その耐性を抑える薬が開発されています。

▶ 免疫療法

がん細胞を攻撃するリンパ球に、がん細胞から攻撃を抑える信号が送られると、がん免疫機能が正常に働かなくなる「がん免疫逃避機構」があります。いくつかの経路があると言われていたのですが、その一つにリンパ球のT細胞に発現する「PD-1」という物質と、がん細胞に発現する「PD-L1」という物質が結び付くとT細胞は攻撃をやめてしまいます。この結びつきをブロックする薬が開発され、現在使われているのが「抗PD-1抗体」で、悪性黒色腫にのみ使用できます。近日中に肺がんにも使えるようになるので、期待されています。

今後、新しい治療薬が次々と出る予定ですので、現在治療が思うように行かなくても、未来に期待できると思います。

入場無料 事前予約不要 京都桂病院

土曜コンサート

今回は、堀音父母の会の協力で、ピアノのソロと連弾でお楽しみいただきます。
入院されている患者さんだけでなく、外来へ通院中の方・在宅で療養されている方・そして地域の皆様もぜひご鑑賞ください。

お楽しみに!

日時: **9月19日(土)** 午後2時~3時
会場: 外来棟1階ロビーにて(※事前予約は不要です)
曲目: ◆ バラード第2番/リスト
◆ アナカプリの丘/ドビュッシー
◆ I Got Rhythm/ガーシュウィン
◆ G線上のアリア/バッハ etc.